

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道2号 岡山倉敷立体(Ⅰ期)				事業区分	一般国道		事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点	古新田～無津地区:岡山県岡山市南区古新田～岡山県都窪郡早島町早島 加須山地区:岡山県倉敷市加須山～岡山県倉敷市二日市							延長	6.4 km	
事業概要										
一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 岡山倉敷立体(Ⅰ期)は、岡山県岡山市南区古新田から都窪郡早島町早島及び倉敷市加須山から同市二日市の延べ延長6.4kmの道路である。事業目的は、岡山市～倉敷市間における交通の円滑化及び交通安全の確保、産業の活性化等である。										
R4年度事業化			R3年度都市計画決定 (R6年度変更)			R6年度用地着手		工事未着手		
全体事業費		約622億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約1%		供用済延長		0.0km
計画交通量		68,600 ～ 77,800 台/日								
費用対効果分析	B/C (事業全体)			EIRR (事業全体)			総費用 (事業全体)	(残事業)/(事業全体)		基準年 R6年
	2.2			8.9%			460 / 464 億円	1,007 / 1,007 億円		
	(参考) 3.3 [2%]						事業費: 437 / 441 億円	走行時間短縮便益: 745 / 745 億円		
	4.1 [1%]						維持管理費: 23 / 23 億円	走行経費減少便益: 226 / 226 億円		
	(残事業)			(残事業)			更新費: - / - 億円	交通事故減少便益: 37 / 37 億円		
感度分析	2.2			9.0%			(事業全体)		(残事業)	
	(参考) 3.3 [2%]				交通量	B/C=2.0～2.4(±10%)		交通量	B/C=2.0～2.4(±10%)	
	4.1 [1%]				事業費	B/C=2.0～2.4(±10%)		事業費	B/C=2.0～2.4(±10%)	
					事業期間	B/C=2.0～2.4(±20%)		事業期間	B/C=2.0～2.4(±20%)	
事業の効果等										
①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・早島町～岡山駅へのアクセス向上が期待される。 ・倉敷市～岡山空港へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・岡山市から水島港(国際拠点港湾)へのアクセス向上が期待される。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・高規格道路「岡山倉敷道路」の一部として位置づけられている。 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡するルートを構成する(倉敷市～岡山市) ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる(早島町～岡山市)。 ④個性ある地域の形成 ・後楽園・岡山城周辺(R5観光入込客数:約173万人/年)へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全で安心できる暮らしの確保 ・岡山市北区高松地区～岡山大学病院(第三次救急医療施設)へのアクセス向上が期待される。 ⑥災害への備え ・岡山県緊急輸送道路ネットワーク計画の第一次緊急輸送道路に指定されている。 ・第一次緊急輸送道路である山陽自動車道が通行止めになった場合、その代替路を形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。										

⑨他プロジェクトとの関係

- ・一般国道180号岡山環状南道路(H21年度事業化)、岡山西バイパス(R2年度事業化)と一体的に整備。
- ・第3次晴れの国おかやま生き生きプラン(R3.3)において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけ
- ・岡山市第6次総合計画後期中期計画(R3.6)において「人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の重点施策「道路ネットワークの充実・強化」に位置づけ
- ・倉敷市第7次総合計画(R3.3)において「各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりを推進する」ための基本方針に位置づけ
- ・第5次早島町総合計画(R4.3)において「総合的な交通体系の形成」を図る施策に位置づけ

関係する地方公共団体等の意見

岡山県知事の見解: 対応方針(原案)は妥当である。

本路線は、高規格道路「岡山倉敷道路」の一部を構成する。国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。特に当該区間は、慢性的な渋滞により、定時性や安全性、企業活動の生産性が著しく低下している。当該区間の整備により、慢性的な渋滞や交通事故等の問題が解消し、日常生活の利便性向上や産業の支援及び災害時にも機能することから、早期整備は地元の悲願であり、当該区間の早期整備を強く望む。なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に取り組んでいただきたい。

岡山市長の見解: 対応方針(原案)に異議ありません。

一般国道2号 岡山倉敷立体(Ⅰ期)は、古新田交差点～無津交差点を立体化することにより、国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、早期開通に向けた着実な整備を要望します。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針(原案)について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・令和4年4月に岡山環状道路の一部を形成する岡山市道藤田浦安南町線が開通、令和5年2月に国道2号大槌橋西交差点の立体化が完成。
- ・周辺地域においては、事業化以降に物流施設が相次いで立地・稼働。
- ・倉敷市が推進する道路事業が国道2号に接続。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和6年3月末時点で、事業全体の進捗率は約1%、用地の進捗率は0%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、道路設計、用地買収を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)